



表紙のこぼれ

今年の「緑と太陽と親子の集い」が、原野谷川親水公園で行われ、23団体の皆さんが各種イベントを展開。午前10時の開場とともに多くの家族連れが訪れました。「写生・ぬり絵コンクール」・豆つかみやお手玉投げ、空き缶つくりなどの得点を競う「チャレンジランキング」・「ふにゃふにゃ凧づくり」・「親子工作教室」など親子で楽しめるイベントが目白押し。親子工作教室では、市内の大工さんから工具の使い方などの手ほどきを受けながら、いすやテーブルなど作りしました。

市民の動き

人口 / 84,266人 (前月比+33人)

(外国人登録者3,530人含む)

男性 / 42,456人 (前月比+29人)

女性 / 41,810人 (前月比+4人)

世帯数 / 28,883世帯(前月比+76世帯)

平成18年5月1日現在

広報

ふくろい



2006年(平成18年)6月1日発行 第29号

編集・発行 / 袋井市役所総務部秘書広報課広報広聴係
〒437-8666

静岡県袋井市新屋一丁目1番地の1
TEL 0538-43-2111(代表)

【ホームページ】

<http://www.city.fukuroi.shizuoka.jp/>

【携帯サイト】

<http://www.city.fukuroi.shizuoka.jp/i/>

【Eメール】

hisyo@city.fukuroi.shizuoka.jp



古紙配合率100%再生紙を使用しています

原田市長の

さんぽみち

散歩道



いよいよワールドカップ・ドイツ大会まで、あと8日と迫りました。日本代表チームの必勝を祈りながら、4年前のエコパで開催されたワールドカップの時の市民の盛り上がりや感動を思い出しています。

エコパでの予選に出場する4チームには、ドイツ・浅

羽中、ロシア・袋井南

中、ベルギー・袋井中、

カメルーン・周南中と、

市内の4中学校の生徒

がサポーターになってくれました。

各中学校の代表生徒と一緒にそれぞれ

の国の大使館へあいさつに回

つて、クッキーや紅茶をこちそう

になったのも懐かしい思い出です。

各中学校では、近隣の小学校と

一緒にあって、応援する国の歴史

や文化を調べたり、選手の特徴や

ワールドカップの感動を再び

顔を描いたりして校内に掲げていたので、さながら応援合戦のようでした。カメルーンの皆さんが周南中の生徒と交流した時には、生徒がカメルーン国歌を演奏したり、カメルーン代表のエムボマ選手の等身大の人形を作ったりして、彼らを喜ばせました。

このような活動がきっかけとなり、笠原小学校では、修学旅行で東京を訪れた際、ドイツ大使館を訪問したそうです。

私も日本代表チームの激励に宿泊場所の「北の丸」・ヘメロンを持って行き、トルシエ監督に喜んでもらいました。ブラジル対イング

ランドの準々決勝の時には、本来は顔に描く国旗の絵をおなかの左右に1か国ずつ描きました。ブラジルのファンには右腹を見せ、イングランドのファンには左腹を見せ、両国のファンと交流し、1人で両国を応援しました。

小・中学校、ボランティアグループ、スポーツ団体の皆さんが中心となって、市民みんなを取り組んでいただいたお陰で、エコパでのワールドカップは大成りに終わり、その熱気は、今も続いています。

市民の皆さんの情熱は、いいまちをつくる源です。ワールドカップに注いだ皆さんの熱い気持ちと迫力は、必ずこれからの袋井を夢と希望と感激にあふれるまちに導いてくれるに違いありません。